

兵庫県保険医協会尼崎支部 職員接遇研修会

接遇の基礎とクレーム対応

医療機関の職員には、患者さんが安心して頼ることのできるコミュニケーション能力が求められています。接遇の質の向上こそが、医療への信頼と医院の印象を一層高めることにもつながります。

研修会では、毎回好評の水原道子先生をお招きし、窓口、電話対応、患者さんへの接し方など基本的な接遇から、患者心理をふまえた接遇のポイント、クレームへの対応法などケーススタディーも交えてわかりやすくお話いただきます。

新しい職員の方はもちろん、改めて日頃の仕事を見直す機会として、ベテランの方もぜひご参加下さい。

○日時 **5月16日(土) 14時30分～16時30分**

○会場 **尼崎中小企業センター 502号室**

TEL: 06-6488-0900 (阪神尼崎駅徒歩3分)

○講師 **大手前短期大学教授 水原 道子 先生**

○参加費 **1,000円 / 一人**

○定員 **40人 (定員になり次第締め切らせていただきます)**



※お問い合わせは協会事務局 長澤・荒川・石本・湯浅 TEL078-393-1817 まで

(※切り取らずにFAXしてください)

【 参加申込 】 FAX: 078-393-1802

尼崎支部職員接遇研修会 (5/16)

お名前	職種	経験年数	
		年	カ月
		年	カ月
		年	カ月
		年	カ月
		年	カ月
		年	カ月

地区 () 医療機関名 ()

TEL: ()

兵庫県保険医協会

尼崎支部ニュース

364号

2015年4月25日付

〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-11-10 八木クリニック
兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

尼崎アスベスト訴訟(労災型)

クボタと国の責任を免罪する不当判決



「直ちに控訴して運動を続ける」と挨拶する船越会長

尼崎市内のクボタ旧神崎工場へのアスベスト(石綿)原料の運搬に従事し、肺がんで死亡した男性の遺族がクボタと国を相手に謝罪と損害賠償を訴えていた尼崎アスベスト訴訟(労災型)の判決が3月23日、神戸地方裁判所で行われ、裁判所は原告の請求を棄却する不当判断を行った。

溶接工として石綿エプロンや石綿手袋などを使用して複数の鉄工所に勤務し、肺がんで死亡した男性の遺族が国を相手に訴えていた裁判についても、原告の請求を棄却した。

判決は、運搬に従事した男性が「肺がんを発症したのは石綿粉じん曝露したことが原因である可能性が高い」と認めながらも、低濃度での曝露によって重大な健康被害が生じるとの医学的な知見は確立していなかったとしてクボタと国の責任を免罪した。

原告団は「予見可能性について安全性に疑念を抱かせる程度の抽象的な危惧であれば足りるとする従来の裁判例を否定するもの」と厳しく批判している。

また鉄工所に勤務した男性は「肺がん発症が業務中の石綿粉じん曝露によるものとは認められない」としたが、原告団は「石綿に職業曝露したことを認めた労災認定と矛盾している」などと批判した。

140人もの支援者が集まった判決後の報告集会で、船越正信先生(「アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会」会長・尼崎医療生協理事長)は「低濃度の被曝でも健康被害が生じることは明らかだ。規制を怠った国、危険を知らずながら使用を続けたクボタの責任は免れない。アスベストによる被害者は現に起きているし、今後、全国各地で発生することが予想される。今回の判決は今後の被害者救済の道を狭めるものでもあり到底許されない。直ちに控訴して運動を続ける」と力強くあいさつした。

協会尼崎支部は「アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会」に参加、八木秀満支部長が同会代表委員をつとめ、署名運動など訴訟の支援を行ってきた。

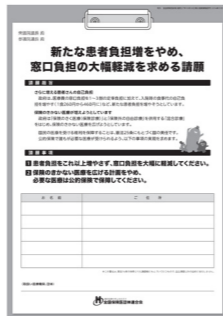
「ストップ患者負担増」署名 めざせ！5万筆

まだご返送いただいていない先生は1枚だけでもご協力を！

協会では政府が発表した「患者申出療養」制度の創設、漢方薬や湿布薬などの保険外しといった患者負担増計画案を許さないために、「新たな患者負担増をやめ、窓口負担の大幅軽減を求める請願」署名運動を5万筆を目標に取り組んでいます。

会員の先生方におかれましては、1枚だけでも結構ですので、まずはご自身・ご家族・職員の方々の署名を協会までご返送いただきますようお願いいたします。

署名用紙追加や返信封筒をご希望の場合は、協会事務局までご連絡ください。



支部会員の先生方へ

未入会のお知り合いの先生、 ご子弟に入会を是非おすすめください

保険医協会は県下で7,100人以上の医師・歯科医師が入会し、開業医が安心して診療に打ち込めるよう支えあう、開業医自身がつくる団体です。医学の進歩と医療技術の向上、変化する医療制度への対応、怪我や病気など万が一の時の備えなど、開業医の診療、経営、生活を全面的にサポートします。勤務医の先生も県下で1,500人を超える先生方にご利用いただいております。

協会未入会のお知り合いの先生、ご子弟に是非、入会をおすすめください。



「サポート力」
いちばん身近に
いちばん親身に

第495回幹事会だより

3月20日(金) 於 阪急塚口「遠山」

- 尼崎支部の会員数
3/19 現在 医科381人、歯科149人
- 医療をめぐる情勢と運動対策
審査・指導対策、アスベスト訴訟判決などについて意見交換した。
- 次回の幹事会
4月24日、阪急武庫之荘「ハピネス」で開催。

兵庫県保険医協会第87回評議員会 特別講演のご案内

2015年4月
兵庫県保険医協会
議長 三根 一乗
理事長 池内 春樹

協会は第86回評議員会後の半年、医療改善や経営対策、会員の身近な要求に応える活動など、様々な活動を行ってきました。2015年度の活動方針を協議するため、標記の会議を開催いたします。万障お繰り合わせの上ご出席いただきますようご案内いたします。

■日時 5月17日(日) 13時～ ■会場 兵庫県保険医協会5F会議室

○ 第87回評議員会 13時～
〈議題〉2014年度会務報告と2015年度活動方針案の件、2015年度予算案の件、役員改選の件他

○ 特別講演 16時～ (会場：農業会館10F 101・102)

「報道現場から見た安倍政権」

TBS執行役員 『報道特集』メインキャスター 金平 茂紀 氏

社会保障改悪と消費税増税、安保関連法改悪と改憲、沖縄辺野古基地建設、原発再稼働、TPP参加など、安倍政権の向かう道に対して、マスメディアが果たすべき役割は何か？ TBSの老舗番組『報道特集』のメインキャスターを務め、報道現場の最前線で活躍されている金平茂紀さんに、お話しいただきます。



「かねひら しげのりー1977年にTBSに入社。社会部、『JNNニュースコープ』副編集長、『筑紫哲也 NEWS 23』編集長を務め、2008年からはアメリカ総局長として、アメリカを中心に取材を続ける。2010年にTBS執行役員に就任。『報道特集』のメインキャスターを務めている。2004年度「ボーン・上田記念国際記者賞」を受賞。」

返信 FAX 078-393-1802

当日は、神戸まつり開催日でもあり周辺駐車場の混雑が予想されます。公共交通機関でお越しください。

■第87回評議員会

出席します 欠席します

■特別講演(16時～) 会場・兵庫県農業会館10F (評議員会議事とは会場が異なります)

参加します (お席の準備の都合上、事前の申し込みをお願いします) () 人

地区 _____ 氏名 _____

兵庫県保険医協会 650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
TEL078-393-1817 FAX393-1802 組織担当 納富